



# 希望のケルン

平成 29 年 12 月 8 日発行

藤沢町住民自治協議会

〒029-3405

一関市藤沢町藤沢字仁郷 12 番地 5

電話:63-5515 Fax:63-5517

Mail: [fujii@dontokoi-f.com](mailto:fujii@dontokoi-f.com)

ホームページ URL: <https://dontokoi-f.com/>

皆様の情報をお待ちしております。

## 市との意見交換会を開催

一関市と藤沢町住民自治協議会との意見交換会は、11月21日(火)藤沢市民センター視聴覚室を会場に開催されました。この意見交換会は、少子高齢化時代に向けて、「高齢者福祉」をテーマに協議会が抱えている課題などについて、一関市と意見交換をしていこうと開催されました。

藤沢町住民自治協議会からは、千田会長をはじめ、理事や特別会員の各団体の会長ら17名と、事務局が出席しました。

一関市からは、まちづくり推進部佐々木部長、保健福祉部長や担当職員が出席、また藤沢支所からは千葉支所長、地域振興課長並びに保健福祉課長や担当職員ら12名が出席しました。

千田会長は、「高齢化社会が進み、様々な課題が出てきている。地域と行政が一体となって、その課題に取り組んでいかなければならない」と、話しました。

最初に地区ごとの課題や活動状況がはなされ、話題の共有化がなされました。

また、今年岩手県立大学との地域協働研究を行いました。その研究結果を2月に開催される「地域づくりフォーラム」で、佐藤准教授から報告されます。その報告を参考に、今後の地域づくり計画作成に役立てていくことが話されました。

この意見交換会の場で出された主な課題は、下記のとおりです。

### ① 公共交通について

藤沢町は、山間部も多くバス停まで遠いことや、高齢化が進み買い物や通院に支障をきたしている。また、高齢になり、運転免許返納後のことを考えると不安がある。

### ② 地域の景観を守る。

高齢者が増えてきている中で、空き家や耕作放棄地が増えてきている。地域としてどのように景観を守っていけばいいのか。

### ③ 一皿運動の活動について

現状の75歳以上独居世帯を対象にしているが、老々世帯など支援が必要世帯もある。食生活改善推進員の人数も増えていない実情もあるので、地域全体で支援を考えていかなければならない。

### ④ 高齢化福祉を考える枠組みづくり

住民自治協議会や主体となる団体だけで「高齢化福祉」について話し合いをしても、課題解決の実効性が伴わなくなってきているので、町全体として協議する場をつくる必要がある。

意見交換会では、予定時間を過ぎても様々な意見が出されましたが、この課題は、行政だけではなく、各団体及び地域が一緒になって、取り組んでいかなければならない課題であることを、参加者全員で共有することができました。



挨拶する佐々木まちづくり推進部長



# 産業部会で「猿沢羊羹」を視察



説明を聞く、産業部会のメンバー

藤沢町住民自治協議会産業部会では11月28日（水）に、一関市大東町の「猿沢地区振興会」へ、視察研修に行きました。

藤沢の特産物開発に向けた加工食品の技術を学ぶことを目的に、猿沢地区振興会の「猿沢羊羹」作りの活動について研修しました。

猿沢地区振興会では、4年前に惜しまれながら閉店した「千葉羊羹屋」の羊羹を復活・継承してほしいという声が地域から多く上がり、新たな地域の名物として平成版「猿沢羊羹」の完成を目指し活動されています。

視察では、猿沢羊羹づくりを復活するまでの経緯について説明を受けました。来年からは原材料の小豆を地元で栽培したいと話していました。



参加者は、新たな特産品を作るまでの会員さん方の苦勞を感じとっていました。

# 自治会協議会女性部「清掃センター」を視察

藤沢町住民自治協議会女性部では、12月5日（火）女性部員14名が参加し、一関市広域行政組合一関清掃センター・大東清掃センターで視察研修を行いました。

深刻化するゴミ問題や資源リサイクルに感心を持ち、どのような工程で、家庭ゴミが資源に変わっていくかを実際に視察しました。

大東清掃センターでは、ゴミの搬入量は人口減少のためか減少傾向にあるということでした。ゴミを分別して出してもらうことで、作業員の事故や機械の故障を防げるので、これからも協力してほしいと説明を受けました。



分別作業を見学する参加者



PET 製品のリサイクルの流れについて、説明を受ける参加者

一関清掃センターでは、ゴミの搬入から処理までの工程を視察しました。リサイクルを行う工程では分別作業や資源化までの流れなどを見学し、分別作業の工程では、手作業で行っていることに驚きました。参加者からは、「ひとりひとりがゴミの分別を意識して、出すときには気をつけて出さなくてはならないと、あらためて確認した」と話していました。

ゴミの出し方や、資源のリサイクルについて再確認してみたいかがでしようか。

# 第73回生活物資リサイクル集団回収が終了

第73回リサイクル集団回収事業で10月22日（日）保呂羽・大籠地区から始まり、11月12日（日）の黄海地区で終了しました。皆様のご協力に感謝します。

藤沢町全体で回収された資源物の総重量は、右記の表の通りです。

なお、次回のリサイクル集団回収事業は、2月25日（日）の保呂羽・大籠地区からとなります。詳しくは、後日文書でお知らせしますので、よろしくお願ひします。

有価物品名	回収された重量
金属類	2,191kg
古紙・段ボール等	35,780kg
ビン類	1,852本